平成30年度　がん看護実践能力向上研修会　日程表

資料2

			愛媛大学医学部附属病院	済生会西条病院	済生会今治病院	市立宇和島病院	松山ベテル病院	大洲中央病院	市立八幡浜総合病院	松山リハビリテーション病院	済生会松山病院
			西出（ニシデ）　彰穂（アキホ）	高橋（タカハシ）　絵理（エリ）	檜垣（ヒガキ）　陽子（ヨウコ）	松本（マツモト）　喜子（ヨシコ）	太田（オオタ）　亮子（リョウコ）	小嶋（コジマ）　広子（ヒロコ）	源（ミナモト）　美穂（ミホ）	土山（ツチヤマ）　藍（アイ）	伊藤（イトウ）　栄子（エイコ）
	実習場所		5東	5東	6東	7東	7東	7西	7西	8西	8西
1	8/24	金	AM：開　講　式・事前課題検討会　・PM：グループワーク								
2	8/25	土	講義：ELNEC-J								
3	8/26	日	講義：ELNEC-J								
4	8/30	木	講義								
5	8/31	金	講義								
6	9/3	月	講義								
7	9/4	火	講義								
8	9/5	水	自施設実習(がん相談部門、連携部門、緩和ケアチーム、通院治療室、放射線治療室等)								
9	9/6	木	講義、16-松山ベテル病院：実習オリエンテーション								
10	9/7	金	在宅（済生会今治）	在宅（済生会今治）	緩和(ベテル)	通治	緩和ケアセンター・患者家族	緩和(ベテル)	在宅（喜多医師会）	通治	緩和ケアセンター・患者家族
11	9/10	月	緩和（5西）	緩和（5西）	在宅（済生会今治）	一般病院相談支援(県中)	在宅（ベテル）	通治	通治	一般病院相談支援(県中)	在宅（ベテル）
12	9/11	火	患者家族・緩和ケアセンター	患者家族・緩和ケアセンター	放射線	在宅（ベテル）	一般病院相談支援(愛大)	緩和（5西）	放射線	在宅（ベテル）	一般病院相談支援(愛大)
13	9/12	水	緩和(ベテル)	緩和(ベテル)	通治	緩和（5西）	通治	緩和ケアセンター・患者家族	緩和ケアセンター・患者家族	放射線	緩和（5西）
14	9/13	木	一般病院相談支援(県中)	一般病院相談支援(愛大)	一般病院相談支援(愛大)	放射線	緩和（5西）	放射線	緩和(ベテル)	緩和（5西）	通治
15	9/14	金	通治	通治	緩和ケアセンター・患者家族	緩和(ベテル)	放射線	一般病院相談支援（松山赤十字）	一般病院相談支援（松山赤十字）	緩和(ベテル)	放射線
16	9/18	火	放射線	放射線	緩和（5西）	患者家族・緩和ケアセンター	緩和(ベテル)	在宅（喜多医師会）	緩和（5西）	患者家族・緩和ケアセンター	緩和(ベテル)
17	9/19	水	AM：グループワーク、 11時～：病棟指導者へのオリエンテーション PM：病棟実習								
18	9/20	木	病棟								
19	9/21	金	病棟								
20	9/25	火	病棟								
21	9/26	水	AM：中間評価会								
22	9/27	木	病棟								
23	9/28	金	病棟								
24	10/1	月	病棟								
25	10/2	火	病棟								
26	10/3	水	まとめ								
27	10/4	木	事例発表会								
28	10/5	金	フォローアップ研修・閉講式								
29	11/22	木	フォローアップ研修								
30	2019/1/31	木	フォローアップ研修								

企画書

提出日：2018 年 10 月 2 日（火）
所属：緩和ケアセンター
企画担当者：廣澤　光代

項目	内容
研修名	コミュニケーション
目的	コミュニケーションの基礎と NURSE の技法を理解するとともに、自分のコミュニケーションの特徴を知り、コミュニケーション能力を高める。
企画概要	講師：廣澤光代（四国がんセンター） ファシリテーター：平田看護師長、宮脇副看護師長、青木副看護師長 対象：済生会松山病院　職員（看護師、相談員、薬剤師等） 募集：最大 24 名 開催日時：平成 30 年 12 月 22 日（土）　12：30 - 16：45（受付 12：15 - ） 開催場所：済生会松山病院 内容：講義、ロールプレイ　参加者22名
評価方法	研修後アンケートの実施
研修協力者	四国がんセンター講師・ファシリテーター
諸経費	旅費（）
必要物品	別紙参照
主催等	主催：がん診療連携協議会　がん看護専門部会　、共催：四国がんセンター 問合せ：四国がんセンター　がん看護専門部会事務局 ＴＥＬ：089-999-1111（宮脇呼出）、ＦＡＸ：089-999-1209、 Email：kango-kensyu@shikoku-cc.go.jp

タイムテーブル

時間		講師・担当者
	会場設営	済生会松山病院　スタッフ
10：00-	会場確認、打合わせ	四国がんセンタースタッフ 済生会松山病院　スタッフ
11：00-12：00	休憩	
12：00-12：15	会場準備等	
12：15-12：30	受付	済生会松山病院　スタッフ
12：30-14：00	講義、ロールプレイオリエンテーション	廣澤　光代
14：00-14：10	休憩・移動	
14：10-15：50 15：50-16：30	ロールプレイ　　（5-6 名×4-5G） まとめ　アンケート記載	ファシリテーター （四国がんセンター、済生会松山病院）
16：30-17：15	振り返り、片付け	四国がんセンタースタッフ 済生会松山病院　スタッフ

準備物品

	物品	個数	備考
□	椅子 机	人数分	講義・ロールプレイで使用
□	チラシ（申し込み）		
□	配布資料（講義資料、ロールプレイの手順など）	人数分	講義・ロールプレイで使用
□	アンケート	人数分	研修後の評価で使用
□	パソコン、ポインター、プロジェクター、マイク 2～3 本		講義で使用
□			

N

③

企画書

提出日：2018年10月10日（水）
所属：緩和ケアセンター
企画担当者：廣澤　光代（専門領域担当）、宮脇(がん看護専門部会担当)

項目	内容
研修名	愛媛県がん診療連携協議会　がん看護専門部会研修会 「がん看護におけるコミュニケーション・スキルーNURSEー研修」
目的	コミュニケーションを理解し、がん患者とのコミュニケーションにそのスキルを活用する
企画立案の背景	がん医療において、患者ー医師間で伝えられる情報はがんと診断された時から生命や治療、予後などに関わる内容を含んでおり、患者や家族は、衝撃を受けることが多い。看護師は、そのような医師から悪い知らせを受けた患者や家族に対して、どのように関わればいいのか悩み、コミュニケーションに葛藤を抱えていることも多い。 また、患者や家族が治療や今後の過ごし方などを選択する時に、看護師は、病状の理解を促し、自分達の価値観に基づいて選択できるように意思決定支援を行う役割を担っている。 コミュニケーションは、患者・家族との信頼関係を築き、不安や不確かさを軽減し、意思決定支援を行うために必要なスキルであり、経験を積むだけでは向上しない。そのため、患者・家族ー看護師関係を発展させるために重要な看護技術であることを意識し、現場で活用できるためのトレーニングを行う必要がある。
企画概要	講師：廣澤　光代 対象：愛媛県内の病院もしくは在宅領域で勤務する看護師 ・専門看護師、認定看護師 ・臨床経験５年以上あり、現在リーダーとしての役割を担っている、もしくは今後リーダーとしての役割を担う看護師 募集：３０名程度（1Gあたりファシリが２名必要。1G6-9名以内とする）　参加者23名 開催日時：平成31年2月2日（土）12：３０～16：１０（12：00～１２：30受付） 開催場所：四国がんセンター　地域医療連携研修センター3階研修室 内容：講義、ロールプレイ
評価方法	研修後アンケートの実施
研修協力者	企画者およびファシリテーター計８名 （　廣澤、宮脇、宇都宮遥、青野、好光、浅野、向、平田　）
諸経費	特になし
必要物品	ホワイトボード４枚、ホワイトボードマーカー（黒、赤、青の３色）、ノートパソコン、プロジェクター、CDプレイヤー4台、CD4枚

事前課題	・「患者・家族とのコミュニケーションでどのような場面で困ることがありますか？」「自分のコミュニケーションにおける課題は何でしょうか？」を申し込み用紙に記入。
主催等	主催：愛媛県がん診療連携協議会　がん看護専門部会 共催：四国がんセンター　看護部　専門領域ミーティング 問い合わせ：愛媛県がん診療連携協議会　がん看護専門部会研修会事務局 （四国がんセンター　宮脇） TEL：089-999-1111、FAX：089-999-1210、Email：519-ml-kango-kensyu@mail.hosp.go.jp

④

せん妄ケア研修開催企画（愛媛県内）

2018年12月27日

提出者：宮脇聡子

研修名	せん妄ケア研修
目的	せん妄のハイリスク者スクリーニング、アセスメント、予防的対処、発症後対処の　基礎が理解できる。
対象	済生会松山病院で勤務する看護職および興味のある医療職
募集人員	100名程度（会場収容人数まで）　参加者　58名
開催日時	平成31年2月8日（金）　17：30-19：00
開催場所	済生会松山病院
目標	(1)　せん妄が患者とその家族、医療者に与える影響について気づくことができる (2)　せん妄（定義、原因、発生要因）について理解できる (3)　せん妄のリスク因子が理解できる (4)　せん妄の発症予防の基礎が理解できる (5)　せん妄に早期に気づくためのアセスメント項目を理解できる (6)　せん妄への対応について理解できる
内容	(1)　講義；せん妄について、せん妄のリスク評価、せん妄への予防的対応、発症時対応 (2)　グループワーク（ロールプレイ）；せん妄に早期に気づくためのアセスメント
評価方法	研修の前後でアンケート調査を実施する
研修担当者	国立がん研究センター主催の「地域におけるせん妄ケア研修企画指導者研修」受講修了者2名（青木清美、宮脇聡子）
開催主体	愛媛県がん診療連携協議会　がん看護専門部会
諸経費	旅費、資料代等
参考資料	国立がん研究センター主催「平成27年度　がん看護専門分野（指導者）講義研修　せん妄ケアコース」で配布された資料
必要資料	・　講義資料 ・　前後アンケート（後アンケートのみ？） ・　アセスメントシート

⑤

企画書

提出日：2018 年 10 月 10 日（水）	
所属：看護部	
企画担当者：宮脇聡子	

項目	内容
研修名	がんと遺伝
目的	がんと遺伝子の関連を医療職が理解し、正しい知識を持って患者対応するとともに、愛媛県内の連携体制を図ることができる。
企画立案の背景	がんに関連する遺伝子の解明が進み、がんゲノム医療がすすんでいる。これに伴い、多職種が遺伝やゲノムに関する知識を持つことが求められている。 特に、Lynch 症候群や HBOC では、遺伝学的検査の結果が治療に直結することからも、患者に情報提供できること、場合によっては専門家につなぐことが必要である。以上のことから、多職種の遺伝に関する知識の獲得と連携の強化を目的に研修を実施する。
企画概要	講師：外部講師 1 名（市立宇和島病院　井上幸子緩和ケア認定看護師） 院内講師：大住医師、山本医師、金子遺伝カウンセラー、松山遺伝カウンセラー、 岡村遺伝カウンセラー 対象：愛媛県内のがん治療、相談支援にかかわる医療福祉職　参加人数53名 募集：80 名 開催日時：平成 30 年 3 月 23 日（土）　12：30　-　16：30（受付 12：15　-　） 開催場所：四国がんセンター　地域医療連携研修センター3 階研修室 内容：講義、ワークショップ
評価方法	研修後アンケートの実施
諸経費	講師謝金：なし（がん看護専門部会研修において拠点病院からの講師は謝金なしで統一）
必要物品	受付名簿、ＰＣ、プロジェクター、ポインター、お茶
主催等	主催：がん診療連携協議会　がん看護専門部会　、共催：四国がんセンター 問合せ：四国がんセンター　がん看護専門部会事務局 ＴＥＬ：089-999-1111（宮脇呼出し）、ＦＡＸ：089-999-1209、 Email：519-ml-kango-kensyu@mail.hosp.go.jp